

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校音楽鑑賞教室				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	53	計画事業名	子どもの文化教育の充実			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (4)文化的なまちづくり					[事業開始]	年度	
		[施 策] ② だれもが文化を享受できる環境づくり[24]					[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	その他		[法令等名]	学習指導要領				
	事業対象	区立小学校5年生							
	事業目的	区立小学校の児童がオーケストラの演奏を鑑賞することにより、情操豊かな児童の育成及び鑑賞態度を身に付けさせる。							
	事業内容	オーケストラの演奏を鑑賞する機会を与え、そのよさを理解するとともに鑑賞のマナーを学ぶ。(学習指導要領に位置付けられている) (会場) 東京藝術大学 奏楽堂							
委託の有無	なし		委託内容						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	鑑賞会開催 (回)		2	2	2	2		
		参加児童数 (人)		1,083	1,094	1,044	1,032		
	成果指標								
	決算額 (単位：千円)				2,001	1,973	1,991		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			270	250	256		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			76	73	76		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			1,926	1,901	1,916		
		総経費			2,272	2,224	2,248		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0				
一般財源 (区負担額)			2,272	2,224	2,248				
前年度から改善した事項	選曲は、学校の音楽教育における鑑賞教材との関連を図るなど、小学生にとって聞きやすく、参加しやすいものとし、教育上効果が上がるよう工夫している。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	本事業は各学校の教育課程に位置づけられており、オーケストラの演奏を鑑賞し本物の芸術に触れることで情操教育を進め、また鑑賞マナーを身につけさせるためにも必要性は高い。						
	効率性	3	従来より東京藝術大学の協力により、東京藝術大学奏楽堂を利用し、1日2回の公演で多くの児童が鑑賞できるようにしており、効率性は高い。						
	手段の適切性	3	東京藝術大学の協力により、児童が聞きやすく、参加しやすいものを考慮して選曲し公演を行っている。児童が本物の芸術に触れ、学ぶ経験ができており適切な事業実施ができています。						
	目的達成度	3	多くの児童が本物の芸術に触れる経験ができ、事業目標は達成できている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性			
学校の音楽教育と鑑賞する曲目の関連性を図り、児童が聴きやすく参加しやすいように工夫をすることで、オーケストラの演奏を身近に感じることができ、教育上の効果は高いといえる。引き続き継続して事業を実施する。						維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		